

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	地域の方との災害時における避難訓練の実施ができていない。災害時とまじく地域の方の「声」が得られる不安にも思う。	年に2回のホム内の総合防災訓練に地域の方も呼び出し参加の機会を得る。	5月にある地域の防災訓練に事業所として参加し地域の方とのネットワーク作りをする。運営推進会議にて防災訓練の実施日をお知らせする。	12ヶ月
2	2 (2)	地域の行事参加が年々減っている。	少人数でも良いので地域の行事に参加する。	地域の行事・運営推進会議にて把握し、事前によく知ることによって職員の勤務体制を調節し参加できるようにする。	12ヶ月
3	19	入所から良好の「家族様もいらしたけれど」まだコミュニケーションが足りず、「家族様の想いと私達の想いに温度差を感じる」ともある。	「家族様」が集まれる場を売見とのバーと場を設ける。	「家族様」にイベントを実施し求めていることの把握に努める。	12ヶ月
4	29	ご利用者様一人一人にある地域資源が把握できていない。	ご利用者様一人一人の地域資源を探る。	一人一人のとりま環境の再アセスメントの実施	6ヶ月
5	52 53 (19)	ご利用者様によっては「同じ場所」にすわっている方もいる。リビングが本当にくろくろ空間になっているのか課題	ご利用者様の「リビング」でも暮らすための環境作り	職員へ今の環境がご利用者様にとって本当に居ごころの良い環境か再度検討してみる。 「食事とる所」とくろくろ空間は別が	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。良いかを振り返る。